

長野県生コンクリート工業組合との懇談会を開催しました

令和5年11月15日

砂利・砂等の主要な需要先である生コンクリート製造業者の県的な団体、長野県生コンクリート工業組合と懇談会を開催しました。

懇談会は、例年開催しているもので、本会からは松田文治会長、片井周一、藤澤幸治、丸山功一 各副会長が出席し、また県生コン組合からは 山浦友二理事長、鷲澤幸一、米山多朗、傳刀俊介 各副理事長の出席をいただきました。

協会からは、懸案事項である、「地産地消のさらなる推進」と「コストアップを反映した骨材購入価格の設定」を要望しました。また、生コン組合から、価格の適正化について早期に情報の共有化が図られるよう検討してほしいとの申し入れがありました。

その後の県内の骨材の需給動向に関する意見交換では、原材料費や電気料金等のコストアップへの対応として、地区ごとの販売価格の適正化の動向や、骨材確保に向けての対応等が話し合われました。



松田会長(左)から県生コン組合の山浦理事長へ
要望書を提出



県生コンクリート工業組合との懇談会の模様